

グループワークまとめ

◇グループワーク① サービス担当者会議開催準備

現状の問題点と対策について

- ・本人、家族、在宅スタッフの意見が共有できていないため、それぞれの意思を確認し話し合う。サービス担当者会議に医師が参加できていない。医師への声掛けもお願いしたい。
- ・週間サービス計画表にサービス内容は記載されているが、それ以外の時間も具体的に付け加える。例えば妻の介護負担の視点(サポートできること)など。
- ・サービス担当者会議の前に、意向をしっかり聞き取り、家族も会議へ出席いただく。会議で話しても良いかどうか確認も取る必要あり。
- ・今後もショートステイの利用があるなら、小規模多機能の利用登録をしてみても良いのではないかな。
- ・問題点に目が行きがちではあるが、良いところ、できているところを強みにする。そこを広げていき、サービスを考えていく視点も必要ではないかな。

◇グループワーク② 将来、事故や病気などで身の回りの事(食べることも含め)ができなくなり、自分の考えを伝えられなくなった時の希望

自分の場合

- ・家族に迷惑をかけたくない。施設や病院で専門職に診てほしい。ただ、年齢が若かったり食事できないだけであれば胃ろうも考える。
- ・その時の状況や治療方針で、家族の意見を尊重したい。
- ・可能であれば自宅で、フルサービスを利用し、家族に負担のかからない方法で穏やかに過ごしたい。
- ・施設へ入所するなど家族への負担が少ない方法を考えてたい。
- ・積極的な治療は望まず、自然のまま。
- ・家にいるほうが良くて、施設はネガティブなイメージがあるのではないかな。メリット、デメリットをはっきりさせておく必要がある。施設は金銭的な負担もあるし、施設だと在宅よりも我儘が言いにくかったりする。また、コロナ禍で面会基準が厳しくなっており、看取りの際にベッドサイドに行けないこともある。そういったことも考慮しなければいけない。

あなたの家族の場合

- ・本人の希望に沿う。在宅で診てあげたいという意見が多かった。仕事もあるため、その時になってみないと分からない、準備もできていない。事前に話し合っておくことが必要。
- ・幼い子供の場合は子供に判断能力がないため難しい。残存能力がある場合は決めきれない。
- ・親と子供で思いが異なる。親なら延命治療はしないという選択肢もあるが、子供であればどうしてあげればよいのか悩む。できるだけ家族の思いを尊重したい。
- ・胃ろうなどでも、生きる幸せがあると説得していけたら良いな。
- ・延命、経管栄養はイメージがしにくく、家族でも決めることが難しいのではないかな。